

情報科学習指導略案

1. 日 時 2010年11月30日(火) 第7時間目 15:10~15:55
2. 学年・組 高校2年A組 情報C選択者(31名)
3. 授業者 岡本弘之・坂東永智のTT(ティーム・ティーチング)
4. 単元名 問題解決の手法とプレゼンテーションによる表現

5. 単元授業計画

(1) 単元の概要

学校の課題についてKJ法による分析手法から発見し、その課題を解決するための方法を考え、提案する。提案に説得力を持たせるために、アンケート・分析・他校の事例などを調査し、説得力を持ったプレゼンとなるよう工夫する。

(2) 単元のねらい

- ①自分たちで課題を発見・解決を提案する問題解決の力を育てる
- ②KJ法、ブレインストーミングなど問題解決のための手法を考える
- ③自分たちの考えを、わかりやすく伝える発表を行う。
- ④発表を相互評価することで、評価する視点に慣れる。

(3) 授業計画

概要説明 (1時間)	授業の全体像を説明し、次回までに学校の強みと課題についての自分なりの分析を考えさせる。グルーピングの発表。
課題の発見 (1時間)	KJ法を使い、グループごとに強みと課題について整理させる 整理した内容について、かんたんに発表する
解決を考える (1時間)	前時に浮かび上がった課題からいくつかピックアップした課題についての解決策をブレインストーミングで話し合う。
提案に説得力を持たせる (3時間)	話し合いで出た解決案から一つを選び、その提案を説得力のあるものとするための準備・分析・調査を行う。 またこれらをプレゼンソフトを用いてまとめる
発表・評価 (1時間)	自分たちの提案をプレゼンテーションする 評価観点を明らかにしたうえで相互評価・教員評価を行う
まとめ・自己評価 (1時間)	前回の評価で出た意見をもとに、考察・自己評価を行う

6. 本時の学習

(1) 本時のテーマ 課題の解決案の発表・評価

(2) 授業の概要

グループで検討してきた学校の課題を解決する提案について、わかりやすく説得力をもって、クラスメイトにプレゼンテーションを行う。

自分のグループ以外のプレゼンテーションについては、相互評価を行い、コメントも記入する

(3) 本時のねらい

- ①自分たちの考えを、わかりやすく伝える発表を行う。
- ②発表を相互評価することで、評価する視点に慣れる。

(4) 本時の展開

	教師の活動	生徒の活動
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・相互評価シートの準備の指示 ・評価観点を説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・同 準備をする ・同 理解をする
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の司会のもとグループ1～8が発表を行う ※同時に教員は生徒と同観点で評価を行う ・発表の後簡単なコメントを教員が行う ※いいところ・課題を指摘するようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表をする ・相互評価を行う
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価・考察の記入を促す ・あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・同 記入をする

(5) 本時の評価

①発表についての評価

発表・内容・デザイン・説得力の四観点について、SABCの4段階で評価する
二人の教員評価と、生徒全員の相互評価

②評価態度についての評価

聞く姿勢、相互評価の内容についても評価を行う